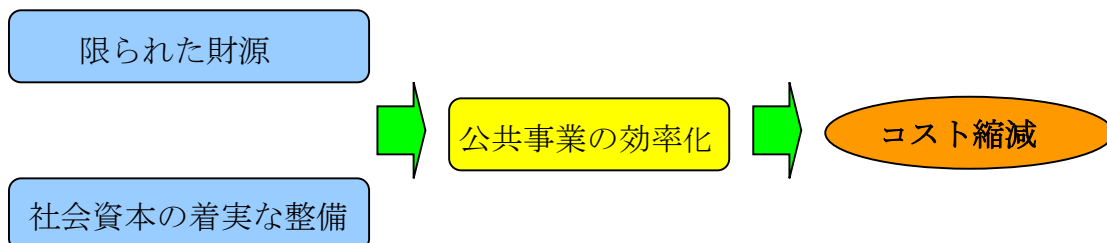


「宮崎市公共事業コスト構造改善プログラム」の概要（改訂版）

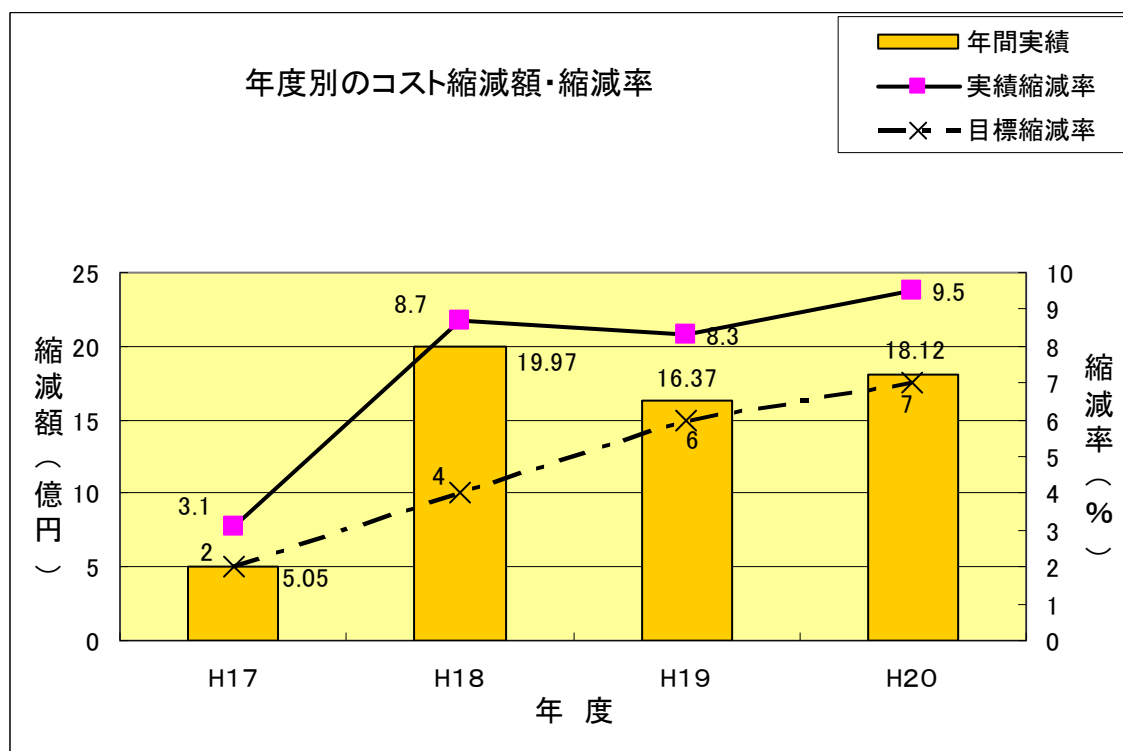
1、コスト削減の取組み背景



2、これまでの行動計画の推移

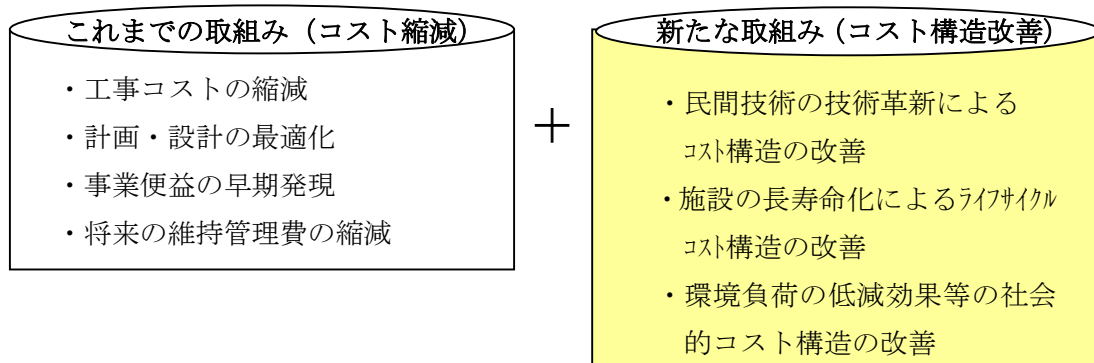
- ・平成10年4月「宮崎市公共工事コスト削減推進委員会」を設置
- ・平成11年2月「宮崎市公共工事コスト削減対策に関する行動計画」の策定
- ・平成14年6月「宮崎市公共工事コスト削減対策に関する新行動計画」の策定
- ・平成17年7月「宮崎市公共事業コスト構造改革プラン」の策定

3、旧プラン（コスト構造改革プラン）によるコスト削減額・削減率の推移



4、新しい取組み（コスト構造改善）の考え方

- ① コスト縮減のみを重視したこれまでの取組みから、コストと品質の両面を重視した取組みに転換する。
- ② **VFM 最大化**を重視する「コスト構造改善」を推進する。
- ③ これまでの「総合的なコスト縮減」の取組みに加え、新たに「コスト構造改善」の取組みを導入し、「総合的なコスト構造改善」を推進する。



※ **VFM(Value for Money)**とは、経済性にも配慮しつつ、公共事業の構想・計画段階から維持管理までを通じて、投資に対して最も価値の高いサービスを提供すること。

- ④ 取組み期間は、平成 21 年度から平成 27 年度までの 7 年間とし、最終計画年度の改善率目標を 7 % に設定
- ⑤ **基準年度**を平成 16 年度から平成 20 年度に変更
- ⑥ 具体的施策数は、旧プラン（構造改革プラン）の 247 施策から改善プログラムでは **22 施策**にまとめている。
- ⑦ 改善率は、「工事コストの改善」効果、「ライフサイクルコスト構造の改善」効果、「社会的コスト構造の改善」効果の 3 効果から算定する。

5、フォローアップ

- ・ 具体的施策の着実な推進を図るため、「宮崎市公共事業コスト構造改善推進委員会」において、フォローアップを行い、その結果及び代表事例を市のホームページに公表する。

6、具体的施策リスト

施策名	基本的な取組み施策		施策番号	具体的施策	種別		
A. 事業のスピードアップ	【1】	合意形成・協議手続きの改善	施策1	計画段階からの合意形成手続きの積極的導入・推進	社会的コスト構造の改善		
			施策2	関係機関等との調整による協議手続きの迅速化・簡素化			
	【2】	事業の重点化・集中化	施策3	事業評価の厳格な実施による透明性の向上			
			施策4	重点的な投資や事業の進捗管理の徹底による事業効果の早期発現			
	【3】	用地・補償の円滑化	施策5	公共事業に係る計画的な用地取得の推進			
	B. 計画・設計・施工の最適化	【1】	計画・設計の見直し	施策6		新技術基準類の積極的な活用	工事コスト構造の改善
施策7				技術基準の弾力的運用（ローカルルールの設定）			
施策8				合理的な計画・設計の推進			
【2】		施工の見直し	施策9	工事における事業間連携等の推進			
			施策10	建設副産物対策等の推進			
			施策11	施工の効率化及び品質確保の推進			
【3】		民間技術の積極的な活用	施策12	公共工事等における新技術活用システム（NETIS）等を通じた民間技術の積極的な活用			
【4】		社会的コストの低減	施策13	工事に伴うCO2排出の抑制による地球温暖化対策の一層の推進	造の改善 社会的コスト構		
			施策14	社会的影響の低減（騒音・振動等の抑制、工事による渋滞損失の低減、事故の防止）			
化 C. 維持管理の最適		【1】	民間技術の積極的な活用	施策15	新技術の活用による維持管理技術の高度化	構造の改善 ライフサイクルコスト	
				施策16	施設の長寿命化を図る為の技術基準類の活用		
		【2】	戦略的な維持管理	施策17	効果的な維持管理システムの構築による公共施設の長寿命化の推進		
				施策18	地域の実情や施設特性に応じた維持管理の推進		
D. 調達の最適化	【1】	調達の見直し	施策19	総合評価落札方式の試行継続	工事コスト構造の改善		
			施策20	企業の持つ技術力・経営力の適正な評価			
			施策21	複数年にわたる工事の円滑な執行のための手続き改善			
	【2】	積算の見直し	施策22	市場を的確に反映した積算方式の整備			